

標準様式例6-2（工事）

（第1回、最終）契約変更の内容

変更契約年月日	令和8年2月18日
契約業者	佐田建設株式会社 東京支店
契約業者の住所	東京都豊島区池袋二丁目48番1号
工事の名称	R6江戸川左岸新宿新田地先低水護岸工事
工事場所	千葉県流山市北地先
工事種別	一般土木工事
工事概要	工事延長L=120m 盛土工 約9,000m ³ 法面整形工 約800m ² 矢板護岸工約180m 法覆護岸工 約3,500m ² 根固め工 約300袋 付帯道路工 約1,400m ² 構造物撤去工 1式 仮設工 1式
工期(自)	令和7年6月20日
工期(至)	令和8年2月27日
変更前の契約金額	335,665,000 円(税込み)
変更金額	-2,970,000 円(税込み)
変更後の契約金額	332,695,000 円(税込み)
変更理由	1. 河川土工 現地調査の結果、現地盤に差異があることが確認されたので、盛土工、盛土工(ICT)を減工する。 2. 矢板護岸工 1) 異形鋼矢板の加工について協議があり、妥当性を確認したため、矢板工を減工する。 2) 現地作業の結果、鋼矢板の施工に支障が生じたため、H形鋼の杭打ちWJで対応したため、矢板工にH形鋼打設引抜を追加する。 3. 法覆護岸工 1) 現地調査の結果、支障となる既設護岸を撤去し、鋼矢板打設後復旧したため、既設護岸復旧工を追加する。 2) 現地調査の結果、覆土に使用する土砂の土取場を変更したため、土砂等運搬を減工する。 4. 根固め工 現地調査の結果、袋詰玉石の袋材を一部再利用品から購入品に変えたため、根固めブロック工を増工する。 5. 構造物撤去工 現地調査の結果、袋詰玉石の再利用撤去を一部撤去にする必要があったため、根固め撤去工を減工する。 6. 仮設工 土取場での地耐力不足に対応する必要があり、敷鉄板で養生したため、工事用道路工を増工する。 7. 共通仮設費 1) 土取場での地耐力不足に対応する必要があり、敷鉄板で養生したため、仮設材運搬費を増工する。 2) 現地調査の結果、伐採した木材の処分が必要のため、木根等処分費を追加する。 3) 施工業者より協議があったため、3次元起工測量・3次元データ作成費用、3次元出来形管理・3次元データ納品を積上げる。 4) 施工業者より協議があったため、図面変換費、遠隔臨場費、営繕費(快適トイレ)を追加する。 5) 施工業者より資料の提出があったため、熱中症補正を計上する。 8. 工期 工期は元設計の通りとする。 以上